

競技注意事項

●競技会の進行

競技は 2026 年日本陸上競技連盟規則に準ずる。

トラック種目の組み合わせ、レーン順およびフィールド種目の試技順は、主催者において定める。

フィールド競技の試技順は、プログラム記載通りとする。

●競技会への参加

- ・各学校の顧問又は所属長が認めた責任者の引率のない場合、出場を認めない。
- ・競技者の招集は競技日程を参考のうえ、時間厳守で必ず本人が行うこと。
- ・招集場所はゴール地点後方のゲートを出て、右手前方付近に設置する。招集時間に遅れた場合、競技には参加できない。
- ・リレー種目はオーダー用紙を招集完了 60 分前までに招集所の競技者係までに提出する。
- ・種目をかねて出場する者はその旨を競技者係および審判員に申し出て競技の進行に妨げがないようにする。
- ・ナンバーカードはユニホームの胸・背部に確実につける。ただし跳躍種目の場合はどちらか一方で良い。
- ・ナンバーカード番号は、太い字で書くこと。
＊トラック種目(リレー種目は第 4 走者のみ)では、レーンナンバーを各校で準備し、右腰部につけ使用する。
＊4×400mR では、第 2 走者と第 3 走者もレーンナンバーを右腰につけ使用する。

●競技用シューズについて

- ・トラック種目、フィールド種目における靴底の最大の厚さは 20mm とする。【競技規則 TR5.2】
- ・必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中、競技後に検査することがある。
- ・その他詳細、WA 承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照。

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

●トラック種目

- ・800m 以上の種目において、招集の際に靴底の厚さの確認を行います。レースに使用するシューズを持参の上、招集所に集まること。※公認シューズについては HP を参照すること。
- ・4×400mR において、第 3, 4 走者は前走者が 200m のスタート地点を通過した順序で内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。違反した場合は失格とする。
- ・スタートについて競技規則 162 条 5 (a) (b) (c) を行った時、イエローカードを示し、警告を与える。ただし、(c) のいわゆる「ピックつき動作」を行った場合、最初は注意に留めるが、繰り返し行う場合はイエローカードを示し、警告を与える。累積 2 枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。

●フィールド種目

- ・競技用具は競技場備え付けの物を使用する。但し、持参した用具で使用を希望する場合は本部にて検定を受け、使用の許可を得ること。またその場合、他の競技者にも使用させねばならない。
- ・フィールド種目の練習は、審判員の指示に従って行う。
- ・走高跳のバーの上げ方は以下のようにする。

男子	1.40 (練習)	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	・・・以降 3 cm
女子	1.15 (練習)	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	・・・以降 3 cm

- ・競技開始の高さについては、天候・練習状況などにより、審判長の判断で変更する場合がある。表に記載されていない高さについては審判長の指示に従う。
- ・三段跳びの踏切は、男子 11m・女子 9m とする。
- ・フィールド競技の試技は 3 回とする。
- ・投てき種目に関しては、ペグでの計測とする。

●ウォーミングアップエリアについて

- ・ウォーミングアップは基本的に第2コーナー奥の直線路・雨天走路を使用すること。ただし、状況によりバックストレートアウトレーン(5, 6, 7, 8レーン)も可とするが、係員・審判の指示に必ず従うこと。また、400m, 800mのような全コース使用時も、係員・審判の指示に必ず従うこと。ハードルの練習についてはその種目がある当日の朝のみ、行うことができる。

●コーチングエリアについて

- ・フィールド競技は以下のようにコーチングエリアを設置する。

種目	場所
走高跳	第4コーナー付近スタンド
走幅跳・三段跳	メインスタンド両端階段下
棒高跳	第1コーナーから第2コーナー間スタンド
投てき種目	第3コーナーから、第4コーナー間スタンド

●助力について

- ・競技者は、携帯電話やスマートフォン等の通信機器もしくはこれらに類似する機器を**競技区域内**で所持または使用してはいけない。

●応援について・撮影について

- ・応援は必ずスタンドから行うこと。グラウンドレベルでの応援は禁止とする。
- ・スターターによるスタートの合図がかかった場合、応援を止めること。
- ・撮影は必ずADカードが見えるよう身に付けて行うようにしてください。

●熱中症対策について

近年の気温上昇に伴い、陸上競技大会においても熱中症リスクへの対応が重要となっております。本大会では、WGBT(暑さ指数)が31を超えた場合、競技の方法を一部変更、または中止とさせていただきます。参加者・関係者の皆様の安全を最優先に考えた判断となりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。選手の皆さんが安全に、参加できるよう各校で**必ず氷(応急処置用・身体冷却用)・経口補水液**を準備してください。大会本部でも可能な限り熱中症に対しての準備を行いますが、参加者全員分の対応は困難なため、**各校での対策をお願いいたします。**

●その他

- ・開門は8時を予定しています。入場抽選は7時50分より行います。
- ・競技中に事故が発生した場合、その学校の責任において処理を行って下さい。
- ・その他不明な点は大会本部で責任者を通じて確認して下さい。
- ・メインスタンドへはスパイクを脱いで上がってください。
- ・ゴミは各校各自で責任をもって持ち帰り下さい。自販機のゴミ箱に捨てるなど、不適切な扱いがあった場合には今後の大会への参加をお断りする場合があります。
- ・忘れ物は大会終了後処分となってしまいますので管理を徹底してください。
- ・ファイナルチェックの学校は農第一・実践学園になります。すべての競技終了後、代表者の方は本部にて指示を受けて担当場所のチェックをお願いします。
- ・競技場外での行動については十分に注意をしてください。弓道場の前の芝生、コンクリートの通路には絶対に立ち止まらず、道を空けてください。競技場以外の場所は優先的に使用することはできません。ウォーミングアップについても、ジョギング以外は禁止とします。
- ・各校におかれまして、大会運営にご協力いただける顧問の先生方や生徒の皆さんがいらっしゃいましたら、本部までお知らせください。皆様のご協力が円滑でより良い大会運営につながります。